

## 農作物の生育概況等について

### 1 気象経過

10月上旬の平均気温は低く、日照時間は平年並から少なく経過した。10月中旬は、平均気温が高く、日照時間は少なく経過した。

### 2 主な農作物の生育状況

#### (1) 水 稲

- ・ 農林水産省から10月14日に公表された水稲の作柄概況(9月25日現在)によると、予想収穫量は10a当たり594kg(全国第3位、前年628kg)と見込まれ、県全体の作況指数は99の「平年並」となっている。
- ・ 地域別の作況指数は、村山地域100、最上地域99、置賜地域97、庄内地域99となっている。

#### (2) 大 豆・そ ば

- ・ 大豆は、主力品種の「里のほほえみ」の収穫作業が行われている。収量は平年並からやや少ないと見込まれる。
- ・ そばは、収穫終盤となっている。収量はやや少ないと見込まれる。

#### (3) 果 樹

- ・ 西洋なし「ラ・フランス」の収穫盛期は前年並の10月10日～14日頃となり、予冷品は10月25日から販売されている。着果量が多く、果実肥大も良好であることから、平年を上回る収量が見込まれる。
- ・ りんご「ふじ」の収穫は前年並の10月末から始まり、11月10日頃から本格化する見込みである。着色がやや遅れているものの、果実肥大は平年並で食味は良好である。
- ・ かきの「平核無」の収穫は、10月22日頃から始まり、果実肥大は平年並～やや大玉傾向である。

#### (4) 野 菜

- ・ きゅうりのハウス抑制栽培は、例年並の9月上旬から収穫盛期となった。現在、収穫終盤に入っている。
- ・ 露地栽培のねぎは、例年並に9月上旬から収穫盛期となり、現在収穫終盤に入っている。

#### (5) 花 き

- ・ 施設花きでは、ばら、アルストロメリア等の収穫が続き、品質は概ね良好である。
- ・ ストックは、9月上旬から中旬の高温で花芽分化が遅延し、例年より7日程度遅い11月上旬から出荷が本格化する見込み。

### 3 当面の主な技術対策及び農作業安全対策

〈大 豆〉丁寧な選別・調製を徹底する。

〈果 樹〉西洋なし「ラ・フランス」の厳選出荷、りんご「ふじ」等晩生品種の適期収穫と厳選出荷を徹底する。

〈野 菜〉ねぎ等の露地野菜の適期収穫を徹底し、促成山菜類の穂木収穫や根株掘り上げを計画的に実施する。

〈花 き〉ストックの適期収穫を徹底し、さくら「啓翁桜」の促成室を準備する。

〈農作業安全〉農作業事故防止のための基本的な対策を実施する。